

平成 2 4 年

第 2 回仙北市議会臨時会

教 育 行 政 報 告

仙北市教育委員会

平成24年第2回仙北市議会臨時会の開会にあたり主な事項についてご報告をさせていただきます。

【教育指導課】

4月4日の暴風により、当日始業式を予定していた市内小学校7校、開校記念日による休業日の生保内中学校を除いた中学校4校並びに市内幼稚園3園は、子ども達の安全確保のため、臨時休校、休園といたしました。

学校前庭の倒木やグラウンドのダッグアウト屋根破損、物置小屋の横転などの被害はありましたが、幸い子どもの怪我はなく、翌日は通常通り授業を開始しております。

また、小・中学校の入学式も予定通り実施され、平成24年度は、小学校7校の児童数が1,251名(前年度比47名減)、中学校5校の生徒数が727名(前年度比14名増)で新学期がスタートしております。

【生涯学習課】

地域で特色ある生涯学習活動を展開する市民サポート事業を市内8カ所で開催し、379名の参加をいただいて3月27日に終了しました。講演会や古くから伝えられている郷土料理、パン焼きなどの料理講習、さらには健康法についての講話など、バラエティーに富んだ事業を実施することができ、今後の公民館活動にいっそうの期待が寄せられました。

また、昨年度から実施しております「がんばろう！東北せんぼくアートプロジェクト推進事業」は、職員だけの構成だった推進チームを今年度から市民3人を加えた11人体制とし、4月13日に委嘱状を交付いたしました。本事業も2年目となり、さらなる賑わい創出の事業を推進してまいります。

【市民会館】

市民会館の天井裏補強工事について、進捗状況をご報告いたします。

去る3月30日小畑設計事務所に現地調査及び補強設計を委託し、4月20日に調査報告書が提出されました。

その結果、吊り天井の吊ボルトの振れ止め対策として、水平方向と斜め方向の筋交いなどで補強し、地震時の揺れを少なくする工事を実施いたします。

本日、工事を発注し6月11日まで約40日の工期を予定しており、6月23日と24日に開催される「昔ばなし大学」20周年記念全国大会秋田大会からは、安心して使用いただけるものと考えております。

【学習資料館・イベント交流館】

新潮社記念文学館では、4月21日から5月27日まで、日本近代文学館のご協力をいただき「愛の手紙 - 文学者の様々な愛のかたち展」を開催しております。ご観覧いただいた皆さんからは、大変好評を得ており今後もたくさんの方々のご来場をお待ちしております。

【スポーツ振興課】

4月4日の暴風により、落合運動公園の野球場の防球ネットの支柱40本の内21本が破損しました。この支柱は、一塁側と三塁側のスタンド座席の背面にあり、ファウルボール等が球場外に飛散するのを防ぐ目的で設置されているもので、鉄筋で補強された塩ビ管が途中で折れ、その重さでネットが傾いている状況です。グラウンド内を使用することについては支障がないことから、応急措置を施し施設利用者の安全を確保しながら、早急に修復すべく、本臨時会に補正予算を計上しておりますので、よろしく願いいたします。

5月30日開催のチャレンジデーに向け、4月19日に「チャレンジデー2012」仙北市実行委員会を立ち上げました。

今年の対戦相手は、広島県竹原市です。竹原市は瀬戸内海に面し、人口約29千人、市の花は「梅」、木は「竹」で「安芸の小京都」と言われております。

人口や小京都のイメージから仙北市と類似するところもあり、市

民の皆さんに紹介しながら交流につなげていきたいと思ひます。

今年は、職場や学校などにおいて持続した軽運動の実施をお願いしたいと考えております。また、地域においては、平日における避難場所や通路の確認を兼ねたウォーキングなど、市民の皆さんの身の回りの活動をとおしてチャレンジデーに参加いただき、参加率55%以上に授与される金メダルを目標に取り組みたいと考えております。

【文化財課】

4月24日、仙北市角館町白岩地内にある「県指定史跡白岩焼き窯跡」が、き損されているとの通報があり、現場を確認したところ窯跡の上部が若干露出しており、秋田県文化財保護室に連絡しております。

いきさつとしましては、昨年、土地所有者からこの窯跡は白岩地区の宝であり、景観を向上させるため樹木伐採の意向を伝えられ、口頭で了承していたものであります。土地所有者に、き損する思いは全くなく善意で窯跡付近の樹木の伐採搬出等を行い、良好な景観となるよう整備したものであります。

土地所有者の申し出の際に教育委員会として、秋田県文化財保護条例による現状変更等許可申請の手続きについて失念し、このような事態を招いたものであります。現在は、秋田県文化財保護室の指示により土地所有者の了解を得て、ブルーシートで養生し窯跡の暫定保護をしておりますが、今後、県から指示があり次第、その内容に従って対応してまいりたいと思ひます。

今後、このようなことがないよう十分注意するとともに、このような事態となりましたことを心からお詫び申し上げます。

4月26日、仙北市が文化芸術創造都市部門で、浜松市など3市とともに文化庁長官表彰を受けました。

この表彰は、文化庁が2007年度から始めたもので、行政と地域の各種団体、地域住民などが連携して地域の活性化に取り組み、著しい成果を上げている市町村に贈られてきたものです。

仙北市は、行政と劇団わらび座、地域の各種団体などが連携した

様々な活動や蔵を会場とした若手芸術家の作品展の開催、黒塀と桜に代表される武家屋敷の景観づくりなどが高く評価されたものであります。今後も、各種団体との連携のもと、地域の豊富な文化遺産などを生かして、文化芸術の薫り高き街づくりに積極的に取り組んでいきたいと思っております。

4月11日から重要伝統的建造物群保存地区内の「小田野家」、「河原田家」、「岩橋家」の公開を行っております。20日には田沢湖郷土史料館をオープンするとともに、史料館内展示物の登録文化財でありますクニマスの標本について、県立博物館の舟木主任学芸主事の指導のもと、ホルマリンからエタノールへ保存液の交換を行っております。

名勝指定の桧木内川堤の桜であります。4月4日の暴風による枝折れがございましたが、ウソの被害もなく例年どおりの景観を保っております。

また、昨年度の積雪と異常低温により史跡「石黒家」西側の屋根の張り5本が損傷し、修理工事が必要となったことから、この工事費の一部について財政支援を予定しており、本臨時会に補正予算を計上しておりますので、よろしくお願いいたします。

【平福記念美術館】

4月14日から5月20日まで「歿後10年 さ さ き ひろひさ 佐々木裕久展」 - 悠久の時、再び～ 初期作品から大作シリーズまで - を開催しております。

佐々木裕久は、角館を活動の場として活躍した日本画家で、新制作展や創画展などに多数の作品を出品しました。今年は没後10年にあたり、初期の作品から代表作を含む大作を中心に、幻想的な作品群を展示しております。開催当初から氏のご家族や同期生、生前からファンの方々などが来館され、中央画壇で活躍された画業はもちろんのこと、裕久(ゆうきゅう)さんの愛称で親しまれたお人柄がうかがえます。県内外からの来場者が増えるこの時期、素晴らしい郷土画人の画業を讃える企画展を多くの皆さんに楽しんでいただきたいと思います。

以上、教育行政に関する報告を申し上げましたが、本臨時会に提案しております教育関係議案につきまして、慎重審議のうえ、ご可決賜りますようお願い申し上げます、教育行政報告といたします。